

本学にとって
意義のあるGPA制度を
めざしましょう

高等教育研究センター
加藤 勉三

1

はじめに

2

はじめに

高等教育研究センターのスタンス

- 原案の素を作成し、共学担当理事に提案する立場ではありません
- しかし、どのようなGPAを導入するかを決定する立場ではありません
- 複数の形を想定し、それぞれの長所短所を検討し、それを見て大学構成員が意思決定できる、という

討議資料提供

をします

3

はじめに

2年間のシミュレーション期間の意味

1. シミュレーションをするため
2. (上の方ではなく)大学構成員が意思決定できるよう、十分な時間を取るため

← 現場に浸透していない決定はうまくいくはずがない

4

はじめに

本学にとって意義のあるGPA

↓

学生が勉強するようになる

5

GPAとは

6

GPAとは？

優とか良とかの成績評価に点数 (grade point)をつけます。

それに単位数をかけ、履修した授業を全部足していきます。

最後に、履修した授業の数で割った数値＝平均値がGPA(grade point average)です。

7

GPAとは？

一つの授業の数値を

$GP \times \text{取得単位数}$ として、

$GPA = \text{全授業の数値}$

$\div \text{総履修登録単位数}$

8

GPAとは？

要するに、GPA自体は

成績を平均値という形で数値化する、

というものでしかありません。

9

GPAとは？

よって、GPAの議論で重要なのは、
どういう成績評価体系にするか、
 ということ、
GPAを何に使うのか、
 という2点になります。

10

なぜ導入する？

理由は三つあります。

- (1) 学生が自分の状況を数値的に把握できるようし、また大学側も学生の状況を把握しやすくする
- (2) 成績評価の厳格化を通して、学生の学びをより確実なものにしていきたい
- (3) 文科省が求めている
 (『学士課程教育の構築に向けて(答申)』、平成20年12月24日中央教育審議会)

11

国内標準 vs. 北米標準

12

国内他大学の状況は？

やり方

今使っている成績評価区分のままそれにGPをあてる

信州大学でそれをする:

SはGP=4.0 Aは3.0

Bは2.0 Cは1.0 Fは0

Cが合格水準, Cが単位認定の下限

13

国内他大学の状況は？

9割弱の大学で、**退学勧告の**
 基準として使われていない

(文科省21年度調査: 56国立大学で
 GPA導入済みで、うち退学勧告の基準としているのは6国立大学)

14

国内他大学の状況は？

9割強の大学で、**卒業判定の**
 基準として使われていない

(文科省21年度調査: 56国立大学で
 GPA導入済みで、うち退学勧告の基準としているのは5国立大学)

15

国内他大学の状況は？

- ・学期途中で出席しなくなった授業がGPAに算入されるかどうかは未調査、受講取りやめの手続きについても未調査
- ・GPA不振学生の取り扱いについては、GPA関係の書類で触れていない方がふつう。

16

国内他大学の状況は？

国内標準のまとめ

- ・今ある成績評価区分をそのまま使う
- ・卒業要件にはしない
- ・退学勧告では使わない

⇒ 特に変わらない
 学生がGPA導入で勉強するようになる、とは期待できない

17

北米の大学では？

北米の大学では、「十分ではないが不合格にはしない」という意味の**D評価**がCの下にある

	S	A	B	C	D	F
日本	4.0	3.0	2.0	1.0		0
北米		4.0	3.0	2.0	1.0	0

素点で言えば60点台

普通の合格の下限はどちらもC

18

北米では？

この結果、日本のこの方式の大学の卒業生は、北米の大学の出身者と比べると、
同じGPAという名前の制度でありながら、
最初から1.0のハンディキャップを背負うことになります。

19

北米では？

退学勧告の基準としている

詳細はセンターニュース第4号で



20

北米では？

『センターニュース』への行き方

Yahoo等の検索エンジンで
「信州大学高等教育」で検索
⇒上の方の「イベント・お知らせ」
⇒右側中ほどの「カテゴリー別にみる」の「ニュースレター」
3号: GPAの対象科目
4号: 退学勧告
6号: 学習アドバイジング

21

北米では？

卒業判定の基準としている
普通は GPAが2.0以上

学期途中で出席しなくなった授業も
GPAに算入されるが、受講取りやめ
の手続きがあり、その場合はGPAに
算入されない

22

北米では？

- ・累積GPAが2.0を下回った学生は「仮及第」扱いとなり、次(またはそのまた次)の学期で2.0を回復しないと退学となる
- ・「仮及第」となりそうな場合や、「仮及第」となった時点でアドバイザーの助言を受けることが求められる。アドバイザーは学部教員ではない専門職である。

23

成績評価の厳格化？

24

GPAで何をやりたいの？

- ・GPAは「成績評価の厳格化」という文脈で語られることが多いのですが、GPAを導入すること、成績評価の厳格化との間には論理的なつながりはありません。
- ・しかし、GPA導入を機に、成績評価の厳格化を推進することはできます。信州大学ではそれをめざしたいと思います。

25

成績評価の厳格化？

「成績評価の**厳格化**」は意味が分からない
ありがちな誤解

1. 「成績を辛めに付けること？」
2. 「我々がいい加減につけていると非難する気か！(怒)」

↓

「成績評価の**透明化**」と言い替える

26

GPAで何をやりたいの？

「透明化」とは、

1. 担当教員と受講生との間で
ここまでできていればC(合格)で、
更に卓越していればA

というような**了解**ができています

2. 受講生が、
自分がどこまでできているのかモニターできる
という2点が確保されていることを指します。

27

成績評価の厳格化？

平たく言うと；

成績評価の透明化

= 受講生が(試験を返してもらえば)
自分の成績が素点レベルで完全予測できるようにすること

28

GPAで何をやりたいの？

1. 教員と受講生との間で評価基準の了解がある
2. 学生が、自分がどこまでできているか分かっている

⇒ 成績評価の**透明性**が高く、よって学生が自分の成績評価に**納得**する

29

GPAで何をやりたいの？

1. 教員と受講生との間で評価基準の了解がある

シラバスでこう書いておく

「これができるようになれば合格」

「この力を測る筆記試験で60点を取れば合格」

30

GPAで何をやりたいの？

1. 教員と受講生との間で評価基準の了解がある

最初の授業で学生に理解してもらう

「授業の目標から見て、
合格ラインはここ
これができるようになること」

31

GPAで何をやりたいの？

2. **学生が**、自分がどこまでできているか分かっている
= 自分の持ち点が計算できる

例

- ・毎回小テストをし、その累積で成績をつける
- ・中間試験をし、その結果をフィードバック
- ・出席点を自分でつけている

32

成績評価の厳格化？

今述べた2つ

1. 教員と受講生との間で評価基準の了解がある
2. 学生が、自分がどこまでできているか分かっている

実現すれば成績評価の透明化が実現
⇒ **大学の誇るべき文化**に

33

「国際標準」とは？

34

よくあるご質問

Q: いつ導入するんですか？

A: 平成24、25年度の2年間は、
・現状の成績評定区分をそのまま使い
・成績は0～100点の素点で入力

素点の分布状況を把握した上で、必要があれば今議論しているGPA導入時の成績評定区分を手直しする

35

よくあるご質問

よって、GPA制度が始まるのは早くても平成26年度から

卒業要件化するとしたら、最初の判定は学年進行でその4年後

36

よくあるご質問

Q: GPAが導入されると、例えば

Aが10%, Bが40%, Cが40%,
Dが10%

というように、成績の枠で%が決め
られるのか？

A: Aの割合については一定の方針があつてもいいとは思いますが、基本的には相対評価は考える必要はないのでは？

37

よくあるご質問

Q: 全ての授業科目がGPAの対象となるのか？

A: 国内外の大学での状況を見ながら、これから議論していくことになります。

国内: 5段階で評価しない授業は対象外
北米: それ以外に、一定数の授業をGPA対象から外すオプションがある

38

よくあるご質問

GPAの対象科目については、センター
ニュースNo.3をご覧ください



39

よくあるご質問

Q: D評定というものが必要な理由は？

A1: D評定は、退学勧告や卒業要件とセットでお考えください。「多少の凸凹はあってもいい。トータルで合格水準にあることを求める」という考え方にに基づき、合格水準を少し下回る科目があっても、他の科目でよい成績を取っていれば認める、という考え方であらうと思われます。

40

よくあるご質問

A2: GPAを海外の大学と同じ形にする、という意味があります。Dがないと、1.0のハンディキャップを背負うことになります。

正直言ってD評定がなぜ必要であるかはよく分かりません。しかし、北米の大学では、調べた限り全ての大学にあります。

41

よくあるご質問

Satisfactory (つまりC) の上がVery good (B) とExcellent (A) の2段階であるのはなぜか？

というものと同じで、

なぜDがあるのか、はおそらく**考えて分かるという性質のものではない**でしょう。

42

国際標準とは？

それよりも、

①「グローバル化」では、「**国際標準**」は「**北米標準**」であり、

②その北米標準では**Dを含む4段階評価**である

という現実の方がより重要でありましょう。

43

国際標準とは？

「秋入学」の動機が、大学・大学院の国際間競争である以上、

GPAを北米標準互換にしておく

のは大きな流れに備えたものと言えるのではないのでしょうか？

44

国際標準とは？

国内大学院の状況

文科省の調査 (H21年度の状況)

研究科段階でGPA制度を導入している大学は

H20年 139大学、23%

⇒ H21年 159大学、27%

GPAなしで国際間競争？

45

国際標準とは？

「秋入学」で国際間競争の時代に
高等教育の国際間競争では
競争するものは ⇒ 教育とその成果
しかし互換性が前提
GPA制度は、
「いい／悪い」の問題ではなく、
「デファクト・スタンダードかそうでないか」
の問題

45

国際標準とは？

しかしながら、本当の国際標準化とは
1. カリキュラムの教育目標が明示され、
2. 学生が個々の授業(やその他の活動)を通してそれにどう到達するかが明らかであり、
3. 個々の授業で何をどこまでやるかが明確に示されており、
4. その達成度に従って成績評価されている
こととしたら、**3と4は先の「成績評価の透明化」**であり、それが国際標準化への着実な方向性

47

大学に入ると勉強しない？

48

勉強させる3つの方策

「学生は大学に入ると勉強しない」が本当だとしたら

⇒ 対策が必要

49

勉強させる3つの方策

1. 学生が成績というものを真剣にとらえる制度にする

【GPA制度】

- ・卒業要件、退学勧告の基準として使う形でGPAを制度化する
- ・GPA制度に良い成績の顕彰も含める

50

勉強させる3つの方策

2. 成績は自分の力で積み上げていった結果という認識を持たせる

【初年次教育】

- ・出席管理は自分です、提出物を出さないと成績が取れない、等々を、一年次の段階で教え、かつ実際に痛い目を見るという体験をする
- ・何をしたら／どこまでできていればこの成績が取れる、ということを学生が承知しており、かつその通りの成績になる、ということについて全学的な了解があり、また学生が一年次に実際にそういう経験をする

51

勉強させる3つの方策

3. 授業で出される課題を通して勉強させる

【FD】

- ・コントロールされた課題をこなしていけるよう学習過程がデザインされている
- ・いつどいう課題が出されるのかがシラバスに書いてあり、またそれがどう採点されるかを学生が了解している

52

勉強させる3つの方策

- ・GPAだけでは学生が勉強するようになることは期待できない
- ・しかし学生に勉強させるより大きなプロジェクトの重要な部分ではある

53

個々の教員にとっては？

54

個々の教員にとっては？

方向1 (国内標準で行こう)

①GPAを導入するが、制度的には今まで通り

- ⇒ 学生も今まで通り
- ⇒ 教員も今まで通り

35

個々の教員にとっては？

方向1 (国内標準で行こう)

しかしながら、

学生も今まで通り

- ⇒ 「学生が勉強しない」は大学間競争で不利に

更に、国内標準型では、「国際」標準型に対しシステムティックに1点低いGPA

36

個々の教員にとっては？

方向2 (北米標準で行こう)

②制度が「学生に勉強させる」方向にシフト

- ⇒ 教員は間違いなく**大変**になる

しかしそれは書類作成等で大変になるのではなく、「教育」という

教員の本分でのこと

37

個々の教員にとっては？

方向2 (北米標準で行こう)

②制度が「学生に勉強させる」方向にシフト

- ⇒ 学生は勉強するようになる(?)

↓

大学間競争で有利に

しかもGPAは「国際」標準の形

38

GPA 二つの形の比較

国内標準		北米標準
S A B C F 4 3 2 1 0 C が合格水準 C が単位認定の下限	成績評定区分	A B C D F 4 3 2 1 0 C が合格水準 D が単位認定の下限
ない	A-や B+といった 中間的な評定	ある
(9割弱の大学で) 使われていない	退学勧告の基準 として GPA を	使っている
(9割強の大学で) 使われていない	卒業判定の基準 として GPA を	使っている
(未調査)	・学期途中で出席 しなくなった授業が GPA に算入 されるか	される
(未調査)	・受講取りやめの 手続き	ある
GPA 関係の書類で触れていない 方がふつう	GPA 不振学生の取 り扱い	累積 GPA が 2.0 を下回った学生は 「仮及第」扱いとなり、次（または そのまた次）の学期で 2.0 を回復し ないと退学となるが、「仮及第」と なりそうな場合や、「仮及第」とな った時点でアドバイザーの助言を 受けることが求められる。なお、ア ドバイザーは学部教員ではない専 門職である。
制度的に従来と変わらないので、 学生の行動もおそらく変わらない	以上の制度で学 生が勉強するよ うになるか？	少なくとも成績には敏感である
今のところ、直前の学歴での成績 が最重視されるわけではない (し、GPA も使っていなかった)	就職先・進学先が GPA をどう見る か？	重視する